

第2回 鉄鋼スラグに関する連絡会議
議事概要

1. 日時 平成27年1月28日(水) 13:00~13:30

2. 場所 群馬県庁 29階 第一特別会議室

3. 出席者

古橋 勉 (群馬県 県土整備部長)
倉嶋 敬明 (群馬県 県土整備部 技監)
小此木 哲雄 (群馬県 県土整備部 建設企画課長)
荒木 健一 (渋川市 建設部長)
丸山 隆 (渋川市 建設部 副部長兼土木管理課長)
山本 俊彦 (渋川市 建設部 副部長兼都市計画課長)
五道 仁実 (関東地方整備局 企画部長)
高橋 克和 (関東地方整備局 企画部 技術調整管理官)
原 和利 (関東地方整備局 企画部 技術調査課長)

4. 議事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 企画部長
- ・ 群馬県 県土整備部長
- ・ 渋川市 建設部長

(2) 議題

1. 取り組み状況及び今後の進め方について

- ・ 関東地方整備局企画部技術調査課長から会議資料「議題1」に基づき以下について説明
 - ・ 分析試験の対象工事
 - ・ 分析試験結果について
 - ・ 現在の取り組み状況について
 - ・ 今後の予定
- ・ 群馬県県土整備部建設企画課長から会議資料「議題1」に基づき以下について説明
 - ・ 群馬県の取り組み状況
 - ・ 今後の進め方
- ・ 渋川市建設部長から会議資料「議題1」に基づき以下について説明
 - ・ 群馬県渋川市の取り組み状況
 - ・ 現在の調査状況
 - ・ 今後の予定

2. その他

- ・ 次回の開催は、各機関の調査結果等がまとまった段階で開催

<構成員からの意見等>

【質問：群馬県】

「ハッ場ダム工事事務所の発注工事において、基準に定める基準値を超えた工事の施工箇所については、土地の所有者や関係機関の意向を踏まえて、基本的に当該材料を撤去することで調整中です。」という説明だが、現在どのような状況か。

【回答：関東地整】

- ・ハッ場ダム関係については、民地や水没地があり、先行して撤去することで調整している。
撤去後に、土壤汚染対策法等に準拠し、安全確認を行う。
- ・関係機関と協議しながら撤去作業を行うための準備を行っている。
- ・撤去費用の負担を行う旨、大同特殊鋼より申し入れがあった。
- ・道路等の箇所については、連絡会議構成員の事業と同様な対応を行うことが重要と考える。
- ・今後の対応については、特に、群馬県環境部局の意向が重要と考えている。

【質問：関東地整】

関東地方整備局では、土壤汚染対策法に準じた分析試験を実施中であるが、群馬県の今後のスケジュールについて教えていただきたい。

【回答：群馬県】

- ・平成21年度以降で鉄鋼スラグの使用が確認できない18工事については、各部局に関わる工事があるため、調査を指示したところ。
- ・具体的には、設計図書と出荷記録との整合などから、鉄鋼スラグを使用した工事箇所の特定を早急に行う。
- ・また、他の機関との情報共有も合わせて進めている。

以上